



平成30年7月5日  
筑後川河川事務所

## 梅雨入り後の小洪水で仮設土砂止め工が土砂を 捕捉し、効果を発現しました

- 九州北部の梅雨入り以降、まとまった降雨により小規模な洪水が3回発生しました。
- この小洪水で赤谷川流域に応急対策として、本年3月末までに設置した土砂止め工と遊砂地が上流域からの土砂を捕捉し、下流への流出を抑制しました。
- なお、土砂の捕捉量は約 16,500m<sup>3</sup>（10t ダンプトラック約 3,300 台分）。
- 捕捉した土砂は、次の洪水に備え速やかに撤去します（撤去工事中）。
- 詳細は別紙参照。

### 《問い合わせ先》

九州地方整備局 筑後川河川事務所  
九州北部豪雨復興出張所 復興センター長 寺下 進一  
復興出張所長 古賀 満  
代表：0946-63-3100 FAX:0946-63-3109

### 1号土砂止め工（堆積深さ：約2.5m）



### 2号土砂止め工（堆積深さ：約2.6m）



### 乙石遊砂地（堆積深さ：約3.5m）



施設名	捕捉土量
1号土砂止め工	約 5,000 m <sup>3</sup>
2号土砂止め工	約 4,500 m <sup>3</sup>
乙石遊砂地	約 7,000 m <sup>3</sup>
合計	約 16,500 m <sup>3</sup>